

国 内		県 内	
4 日	五輪招致の東京、I O C が調査開始 国際オリンピック委員会は、2020年夏季五輪招致を目指す東京都への現地調査を開始。	12日	円滑化法終了後も中小企業支援を継続 金融庁と九州財務局は、宮崎市で「金融の円滑化と中小企業支援策に関する説明会」を開催。
5 日	厚生労働省、中小企業の労働環境改善で助成金 厚生労働省は、労働環境改善に取り組んだ中小企業などを対象に2013年度から助成金支給を決定。	13日	13年度、県が指名競争入札を試行 県は、県議会で2013年度から指名された業者だけが参加できる「指名競争入札」を試行すると公表。
8 日	12年10～12月期G D P、年率0.2%増 内閣府は、2012年10～12月期の国内総生産改定値が前期比実質0.04%増、年率で0.2%増と発表。	15日	ワシントンニアパーム、若木に植え替え 国土交通省は、宮崎らしい道路景観に配慮しワシントンニアパームを若木に順次植え替えると発表。
12日	愛知沖でメタンハイドレートからガス採取成功 経済産業省は、愛知県沖の海底地層からメタンガス採取試験に世界で初めて成功と発表。	15日	県産キャビア生産推進へ事業組合発足 宮崎市で、県内11のチョウザメ養殖業者がブランド確立に向け「宮崎キャビア事業協同組合」を結成。
12日	東電原発事故、除染費用10兆円と試算 環境放射能除染学会は、東京電力福島原発事故の除染費用は10兆円に上るとの試算を公表。	19日	赤身肉の「都萬牛」試験販売開始 西都・児湯の畜産農家で作る「新生和牛の会」は、独自飼料で赤身肉牛を生産し試験販売開始。
12日	大企業1～3月期景況判断指数、プラス1.0 内閣府は、1～3月期法人企業景況予測調査で大企業の景況判断指数はプラス1.0に転じたと発表。	19日	県試算、T P P 参加で1,254億円の損失 県は、国がT P P に参加した場合、農林水産物の年間産出額のうち1,254億円が失われると発表。
15日	安倍首相、T P P 交渉参加表明 安倍首相は、環太平洋連携協定交渉への参加を表明、日本の農業と食を守ると約束。	20日	五ヶ瀬スキー場、今季入場者数3万6,533人 五ヶ瀬ハイランドスキー場は今季営業を終了。入場者数は3万6,533人と目標の4万人に届かず。
15日	3月月例経済報告、基調判断を上方修正 政府は3月月例経済報告で、基調判断を「持ち直しの動きがみられる」と3カ月連続で上方修正。	22日	延岡で医療機器産業支援セミナー開催 延岡市は、メディカルタウン構想の推進を目的に「医療機器産業参入支援セミナー」を開催。
18日	12年度農業白書、農家の高齢化が課題 農林水産省は、2012年度「食糧・農業・農村の動向」の骨子案を公表。農家の高齢化などが課題。	25日	10年度本県経済、3年ぶりプラス成長 県は、県民経済計算で2010年度の経済成長率は名目0.1%、実質0.7%とプラス成長したと発表。
18日	南海トラフ地震想定、全国被害額220兆円 内閣府は、南海トラフで大地震が起きた場合、全国での被害は最大で220兆3千億円に上ると発表。	25日	「ハートシティ都城」、旧「都城大丸」を取得 都城市の「ハートシティ都城」は、宮崎地裁の売却許可決定を受け旧「都城大丸」を4億円で取得。
21日	2月の訪日客、円安効果で3割増 政府観光局は、2013年2月の訪日外国人客数が前年同月比33.1%増の73万人と発表。	26日	延岡西環状線が一部開通、渋滞緩和に期待 延岡市などが整備中の延岡西環状線のうち、富美山通線の「岡富古川工区ー多々良工区」が開通。
25日	日本と欧州連合、E P A 交渉開始決定 安倍首相は、日本とE U の貿易自由化などに関する経済連携協定(E P A)の交渉開始を決定。	27日	10年の本県口蹄疫、侵入経路特定できず 2010年の本県口蹄疫感染経路の補完報告で、農林水産省は東アジアからウィルス侵入と推定。
29日	13年度再生エネ買取上乗せ額、九州は132円 経済産業省は、「固定価格買取制度」で2013年度の電気料金への上乗せ額が九州は132円と発表。	29日	「45フィートコンテナ特区認定」で競争力強化 国は、本県申請の「宮崎45フィートコンテナ物流特区」を認定。認定は宮城県に次いで2例目。
29日	年度末株価、年間上昇率23%の1万2,397円 東京株式市場は、日経平均株価終値が1万2,397円91銭と前年度末比2,314円上昇(+23%)。	30日	T G C 開催、1万5千人がショーを満喫 延岡市で「東京ガールズコレクション」が開催され、野外イベントに県内外から約1万5千人が来場。